

招

く

家

主催 日本大学理工学部（東京都千代田区・千葉県船橋市）・日本大学生産工学部（千葉県習志野市）・日本大学工学部（福島県郡山市）・日本大学短期大学部（千葉県船橋市）

第71回 日本大学全国高等学校建築設計競技

すまいとまちのていあん

日本大学全国高等学校・建築設計競技審査会
審査員長

■プロフィール



工藤浩平（くどう・こうへい） 建築家／工藤浩平建築設計事務所

1984年 秋田県秋田市生まれ
2005年 国立秋田高専環境都市工学科 卒業
2008年 東京電機大学工学部建築学科 卒業
2011年 東京藝術大学大学院美術研究科 修了
2012年 SANAA（妹島和世+西沢立衛）（～2017）
2017年 工藤浩平建築設計事務所 設立
2018年 国立秋田高専 外部指導講師（～2021）
2019年～ 東京デザイナー学院 非常勤講師
2020年～ 東京電機大学 非常勤講師
2023年～ 東京理科大学 非常勤講師
2023年～ 多摩美術大学 非常勤講師

主な作品
プラス薬局みさと店 [2019]
佐竹邸 [2021]
大阪・関西万博、休憩所 [2025・計画中]

受賞
日本建築学会作品選集 新人賞
日本建築家協会東北住宅大賞2021 住宅賞
日本建築家協会 優秀建築選2020
住宅建築賞2023 など

日本大学全国高等学校・建築設計競技委員会
委員長 福井 剛

■ごあいさつ

日本大学では、建築系の学科がある4学部（理工学部、生産工学部、工学部、短期大学部）6学科の共通事業として、毎年、日本大学全国高等学校・建築設計競技を実施してまいりました。

本設計競技は、昭和28年に第1回全国工業高等学校設計競技として発足し、今年で第71回を迎えることができました。これもひとえに、ご参加いただいた高等学校、高等専門学校生徒の皆様並びにご指導いただいた先生方によるご努力の賜物であると考えております。心より感謝申し上げます。

また、日本大学といたしましても、本建築設計競技が高等学校における建築教育に微力ながらお役に立っているならば幸甚に存じます。

本設計競技の第50回までは工業高等学校の生徒の皆様を対象に実施してまいりました。この実績を基盤として第51回からは建築系生徒の育成という役割と同時に、専門分野を越えて広く暮らし・住まいに関心のある若い世代への参加を促すとともに、第60回からは高等専門学校に在籍する3年次生にも門戸を開き、建築・都市・まちづくりから暮らしづくりへと志向するより多くの皆様に参加を呼びかけております。

引き続き本年度も、若い方々らしい新鮮な発想を盛り込んだ提案を期待します。高等学校、高等専門学校の先生方におかれましては、意欲と熱意のある生徒の皆様がご参加、ご応募くださいますよう、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

日本大学 理工学部建築学科
理工学部海洋建築工学科（幹事校）
理工学部まちづくり工学科
生産工学部建築工学科
工学部建築学科
短期大学部建築・生活デザイン学科

連絡先 〒101-8308
東京都千代田区神田駿河台1-8-14
日本大学理工学部建築学科教室内
日本大学全国高等学校・建築設計競技会事務局
E-mail：cst.arch.nu.hs.competition@nihon-u.ac.jp FAX：03-3293-8253
担当：佐藤慎也・泉山壘威・小島陽子・二瓶士門・阿久戸信宏・大川碧望
公式SNS Facebook：https://www.facebook.com/nu.hs.competition
Instagram：https://www.instagram.com/nu.hs.competition/

■テーマ

「招く家」

■課題主旨・視点

「招く家」というテーマをもとに、住宅を設計してください。なにを住宅に「招く」のかは自由に発想していただいかまいません。

敷地は自由に設定していただいかまいません。住宅は戸建住宅でも、マンションでも、シェアハウスでも、商店街の中でもかまいません。

現代では、家のセキュリティやプライバシーはとても大切だと考えられていますが、昔の日本の家には、客人を招くために縁側や土間・客間などがありました。一件の家のセキュリティを高めて防犯するという考え方ではなく、家に招くための場所をつくって地域の人みんなが顔見知りになり、地域全体で防犯性を高めるという考え方ですね。

ここで一つ気をつけていただきたいのは、今と昔、どちらが良いかを皆さんに判断して選んでほしいのではないということです。「招く家」というキーワードをとおして、現代の社会でもう一度、家や地域のセキュリティやプライバシーやコミュニティーについて考えて、家を考え直してほしいと思っています。

例えば、商店街の住民の商いと住まいの関係は、昔からある招く家の形式の回答の一つかもしれませんが、その回答方法が家や地域にとって本当に良いものであるのか、今一度考えてみてください。

こうしていろいろと考えてみると、招く対象は人だけではないのかもしれないかもしれません。風や光といった自然の恵みも招く対象の一つですし、犬や猫といった動物を家に招くことも、現代における招き方の一つだといえると思います。

どうぞ、自由に発想で「招く家」を考えてみてください。皆さんの提案を楽しみにしています。

■提出内容

居住者の構成、住居の形式は問わない。

敷地の場所や大きさは自由だが、どういう環境にあるのか、周辺環境の説明は必須とする。

構造、階数などは自由とし、法規制についても、常識の範囲内でかまわない。

居住者の構成、所要室なども各自の提案にしたがって、それぞれ設定すること。

下記の内容を、A1用紙1枚にまとめること。紙質・表現・仕上げは自由だがパネル化はしないこと。

応募者の氏名などを提出図面に記入してはならない。

- 1) 設計概要：設計および提案の主旨を600字程度にまとめる。提案内容にふさわしい作品タイトルをつけることが望ましい。
- 2) 配置図兼1階平面図：配置図には周辺との関係、外構計画を表現する。縮尺1/50～1/100。
- 3) その他の各階平面図：平面図には室名・寸法・家具などを記入する。室名などは、日本語表記のみでよい。縮尺1/50～1/100。
- 4) 断面図：1面以上。縮尺1/50～1/100。
- 5) 立面図：1面以上。縮尺1/50～1/100。
- 6) 全体外観図：模型写真でも可。ただし、模型は受けつけない。
- 7) その他：各自の提案内容を表現するために必要と思われる説明図、スケッチなどを描いて説明しても良い。

■応募資格

2024年4月現在、高等学校在籍の生徒、高等専門学校に在籍する3年次生までの生徒とする。応募は個人とする。

■応募案の取り扱い

・応募作品は未発表の作品に限る。

・本設計競技の応募作品の著作権は応募者に帰属するが、応募作品の発表に関する権利は主催者が保有する。

・応募作品は原則として返却しない。ただし、応募用紙に返却希望の記載がある作品については返却を行う。その場合、返却時期は主催者の判断によることとし、返送先は、応募時の宛先とする。

■応募方法

・応募フォームに必要事項入力し送信。応募フォームに入力したメールアドレスに、フォームに入力した内容が送信されるので、メールを印刷し封筒に入れ、提出物と一緒に郵送する。

・応募フォーム <https://forms.gle/EKD5LK1nA2g5DLUV7>

・締切日 2024年8月31日(土) 当日消印有効

・提出先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14

日本大学理工学部建築学科教室内

日本大学全国高等学校・建築設計競技会事務局

E-mail：cst.arch.nu.hs.competition@nihon-u.ac.jp FAX：03-3293-8253



応募フォーム

■審査員

審査員長 工藤 浩平（建築家／工藤浩平建築設計事務所）

審査員 石田 優（短期大学部建築・生活デザイン学科）

川嶋 勝（短期大学部建築・生活デザイン学科）

佐藤 信治（理工学部海洋建築工学科）

篠崎 健一（生産工学部建築工学科）

橋本 修（理工学部建築学科）

長谷川洋平（理工学部海洋建築工学科）

古澤 大輔（理工学部建築学科）

牟田 聡子（理工学部まちづくり工学科）

山岸 吉弘（工学部建築学科）

山田 義文（工学部建築学科）

渡邊 康（生産工学部建築工学科）

■賞

最優秀賞 1点 賞状、賞品（図書カード10万円）、副賞15万円

優秀賞 5点 賞状、賞品（図書カード各3万円）、副賞各5万円

佳作 5点程度 賞状、賞品（図書カード各2万円）

奨励賞 10点程度 賞状、賞品（図書カード各1万円）

（賞状、賞品は応募者本人に、副賞は奨励金として応募者が在籍する学校に贈呈する。なお、優秀賞以上6点については、公開発表会参加のため、本人と引率教員の交通費を支給する。）

■審査

第1次審査は、審査会を開催し、優秀賞6点、佳作5点程度、奨励賞10点程度を選出する。

第2次審査は、公開による発表会を開催する。第1次審査で選出された優秀賞6点の応募者による発表を行い、最優秀賞1点を選出する。

発表を行う優秀賞受賞者には2024年9月21日（土）までに第1次審査結果を通知する予定。

■公開発表会（2次審査会）・表彰式・交流会

日時：2024年10月19日（土） 公開発表会は12時00分から

場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

■発表

審査結果は、応募者の在籍する学校に直接通知する。電話などによる問い合わせには一切応じない。

また、入賞作品を公式SNSに掲載するとともに、作品集を応募者の在籍する学校に郵送する。

Facebook：<https://www.facebook.com/nu.hs.competition>

Instagram：<https://www.instagram.com/nu.hs.competition/>



Facebook



Instagram

■日本大学全国高等学校・建築設計競技委員会

委員長 福井 剛（理工学部海洋建築工学科）

委員 阿久戸信宏（理工学部建築学科）

石田 優（短期大学部建築・生活デザイン学科）

泉山 壘威（理工学部建築学科）

大川 碧望（理工学部建築学科）

川嶋 勝（短期大学部建築・生活デザイン学科）

北野 幸樹（生産工学部建築工学科）

小島 陽子（理工学部建築学科）

佐藤 信治（理工学部海洋建築工学科）

佐藤 慎也（理工学部建築学科）

篠崎 健一（生産工学部建築工学科）

二瓶 士門（理工学部建築学科）

幹事校 理工学部海洋建築工学科

橋本 修（理工学部建築学科）

長谷川洋平（理工学部海洋建築工学科）

古澤 大輔（理工学部建築学科）

宮崎 渉（工学部建築学科）

牟田 聡子（理工学部まちづくり工学科）

矢代 眞己（短期大学部建築・生活デザイン学科）

山岸 吉弘（工学部建築学科）

山田 義文（工学部建築学科）

吉村 凌（短期大学部建築・生活デザイン学科）

渡邊 康（生産工学部建築工学科）